

第4回 中山町学校の将来構想検討委員会 次第

日時 令和6年7月9日（火）

16時～17時30分

会場 中山町中央公民館 第1会議室

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 事務局および総務広報課防災安全対策室より説明
(1) これまでの経過について（事務局より）
(2) 公共施設の再配置について（防災安全対策室より）
- 5 各学校の取り組みの重点について
- 6 グループ討議・発表
複数の視点からよりよい学校類型について
- 7 諸連絡
- 8 閉会

よりよい学校類型についてグループ討議を行いました

- ・子どもの数がこのまま減っていくと学級数が減ることになる。中学校は現在の3学級から2学級になる。そうすると教職員数が減ることから、教科担任の減、部活動顧問の減となり教職員を十分に配置できない問題が出てくる。
- ・義務教育学校※と小中一貫教育について教えてほしい。
- ・義務教育学校の理解がいまいちで、町民が受け入れられるかが重要だと思っている。
- ・学校将来構想は学校中心の話。中山町としての町づくりとしてどういうプランがあるのか示してほしい。学校や商店街などどういう中で暮らして魅力ある町づくりをしていくのか。
- ・小学校2校を1校にすることについてのイメージはあったが、小中一貫校という3つの小中学校を1つにするということについては驚きがある。
- ・児童生徒数、学級数の減少、校舎の老朽化などから考えて、学校の再配置が必要になった時は、「小・中学校を統合」にいくべきと考える。

義務教育学校とは、1人の校長、1つの教職員組織のもと、9年間を通じた教育課程を編成している新しい種類の学校です。

現在、全国には約230校あります。山形県内では3校ありますが、今後、開校を予定している市町村が複数あります。